

校内LANを活用した学年新聞の作成

深谷市立幡羅中学校 (報告者) 教諭 小島 寛
(実践者) 教諭 山崎 誠

1. 題材名 「学年新聞を作ろう」(第1学年 特別活動)

2. 題材の目標

教師からだけではなく、生徒の目から見た学校生活についてタイムリーな話題を新聞にまとめ発行し、保護者に知らせる。編集会議などの中から組織作りや分担処理などの能力を養う。

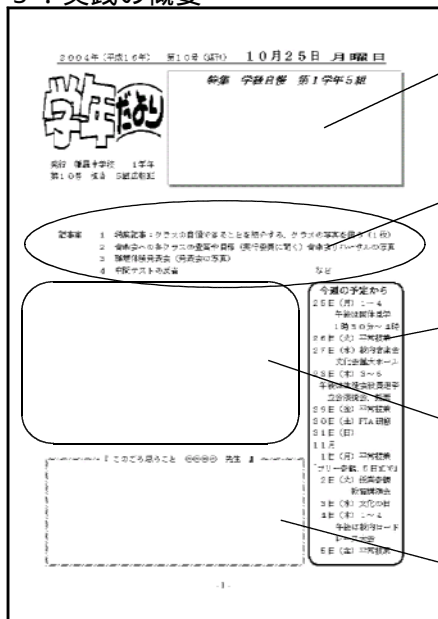
3. 指導計画の概要

- 新聞のレイアウト枠作成(教師)
- 編集会議(教師の指導の下生徒)
- 取材・依頼
- 記事の作成
- 校正

4. 情報機器活用の意図

- (1) 校内LANを活用してデータをサーバー内に保存することで、生徒が普通教室用ノートパソコンで作成したものを、教師は職員室で確認することができる。(生徒、教師間のデータの共有)
- (2) 一太郎およびデジタルカメラを活用することで写真の挿入が容易になり、レイアウトを工夫した楽しい新聞を作成することができる。

5. 実践の概要



新聞のレイアウト枠を作成(教師)

特集記事

教師がテーマを設定する

記事案

担当教師が記事の原案を載せておく

週の予定

担当教師が入力しておく

記事スペース

編成会議を基に、生徒が工夫して記事を書ける

教師からの記事

学年職員が輪番制で記事を書く。

編集会議（担当教師の指導の基）

- ・記事案を基に、どんな記事を書けるか話し合う。担当教師が学年新聞にふさわしい内容かどうか検討する。

取材・依頼（原稿・イラスト）

- ・編集会議を基に取材、原稿依頼をする。また、イラストもクラスから募集し、楽しい新聞にする。
- ・デジタルカメラを活用し、クラスの様子など必要な写真を撮る。
- ・インターネットからダウンロードした図や写真などを活用する。

記事の作成

- ・取材したことを基に工夫して記事にする。
- ・教師が学年新聞にふさわしい内容になっているか確認する。

生徒の操作困難な部分を教師が校正

- ・生徒が作成する中でのレイアウトの乱れや、ソフトの操作上困難な部分を、教師が支援、校正する。

6. 成果と課題

生徒による手書き新聞の発行は、編集や取材に時間がかかり、放課後の時間の中では教師による内容の確認まではなかなか難しい部分がある。今回の取り組みでは、校内LANを活用しデータを共有できたことで、生徒と教師が限られた時間を有効に使うことができた。サーバーを経由して生徒同士、生徒と教師のやり取りができるためメディアでやりとりする必要がなく、作業の効率がよくなった。また、デジタルカメラやスキャナー等の情報機器を活用することで写真やイラストを用意に挿入することができ、時間的にも大いに短縮することができた。生徒は情報機器の活用に変意欲的である。短時間で編集できることで、生徒の視点からタイムリーな話題を提供できるようになり、保護者からも好評であった。

今後の課題としては、放課後の時間が確保できない時期（特に冬季）には発行の間隔が広がってしまうので作業の効率化、時間の確保の仕方を工夫していきたい。

